

診ます会

トピックス

- ・ 平川館長就任の挨拶
 - ・ 新任医師の紹介
 - ・ 頭・腹部血管撮影装置の更新 他
- お知らせ
診ます会講演会及び総会について
 平成17年6月2日(木)



山形市立病院済生館 館長の挨拶

平川 秀紀



いつも格別の御厚情を賜りまして、心より御礼申し上げます。

4月1日より、峯田前館長の後任として、館長を拝命いたしました。私にとりましては身に余る大役でございますので、今までにも増してより一層の、先生方の御指導と御支援を賜りたく何卒宜しくお願い申し上げます。

一度済生館に紹介したら、戻ってこないという悪評を改善すべく、峯田前館長を中心に、平成14年に地域医療連携室を立ち上げ、先生方との親密な信頼関係を築くべく努力して参りました。お蔭様で平成15年11月に地域医療支援病院の認定を県知事より頂くことができました。今後は患者様をも含めた信頼関係の醸成に心を砕いて参りたいと思っております。糖尿病をはじめとする疾患別の連携を先生方と共に推進を図り、患者様に病診連携の最大限のメリットを提供できるシステム作りを先生方と模索して行きたいと思っております。

安心で、安全な質の高い医療を患者様に提供することができますように、患者様に木目の細かい痒いところに手が届くようなサービスの提供ができますように、院内体制を整備し、職員の意識改革を進めてまいりたいと思っております。

診ます会講演会、症例検討会やご紹介患者様の病床へお越しの折に、職員への叱責、御指導など賜れば幸いです。また、安全管理研修会、介護研修会なども行っておりますので、スタッフの方々のご参加もお待ち致しております。

今後とも、暖かい御指導、御支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

平成17年度の人事体制について

この度の人事異動により、人事体制が下記のとおりになりました。よろしくお願いたします

館長	平川秀紀		
副館長	片桐 茂	有川 卓	野村 隆
第一診療部長	秋葉伴晴	第二診療部長	大村 眞
診療技術部長	守本和弘		
診療科科長	菊地義文 (消化器科)	岩淵勝好 (呼吸器科)	齋藤公男 (循環器科)
	佐藤和人 (内科)	秋葉伴晴 (小児科)	守本和弘 (外科)
	増田啓治 (整形外科)	天笠雅春 (脳神経外科)	小林和夫 (神経内科)
	角田孝彦 (皮膚科)	鈴木 仁 (泌尿器科)	佐藤文彦 (産婦人科)
	大村 眞 (眼科)	近藤芳史 (耳鼻いんこう科)	高橋邦夫 (放射線科)
	沼倉堅一 (精神科)	江良謙次 (歯科)	樋口卓也 (麻酔科)
看護部長	齋藤順子	事務局長	富田 博
地域医療連携室	室長 野村 隆	副室長	秋葉伴晴
		副室長	太田恵子

このたび平川新館長を引き継ぎ、地域医療連携室を担当させていただくことになりました。

当院は地域医療支援病院として、地域包括型医療への貢献のみならず医療・福祉連携の規範となる責務があるものと考えております。今後は、当院の救急医療や専門的機能の強化と多様化するニーズに応えられる連携システムを築かせていただきたいと考えております。これまで以上に、先生方のご指導・ご支援と連携事業へのご参加をよろしくお願い申し上げます。



新任医師のご紹介

平成 17 年 4 月から新たに済生館に赴任した医師を紹介いたします。ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

◆ 鈴木 仁 (泌尿器科主任医長 兼 泌尿器科長)



昭和 57 年に山形大学医学部を卒業し、今まで県内のいくつかの病院で勤務してまいりましたが、この度済生館の泌尿器科に赴任いたしました。これまでの経験をもとに県内の医療の向上に少しでも貢献できればと考えております。先生方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

◆ 福井 昭男 (循環器科医長)



4 月からお世話になることとなりました。山形大学第 1 内科では虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈形成術、僧帽弁狭窄症に対する経皮的僧帽弁交連裂開術、不整脈に対するカテーテルアブレーション、植込み型除細動器、心不全に対する両心室ペーシングなどカテーテル検査及び治療全般に携わってまいりました。何かお困りの症例がありましたら、お気軽にご紹介いただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

◆ 相澤 吉比古 (内科医長)



4 月より済生館内科に勤務することとなりました。済生館には平成 2 年東北大学卒業後 2 年間初期研修医として勤めました。その後大学に戻り旧第二内科 (現在の腎高血圧内分泌科) 甲状腺斑に所属。主に甲状腺、内分泌、糖尿病、慢性腎不全などの疾患に携わってきました。

趣味といっても余りないのですが、Jazz 好きで、研修時代はよく駅前の octet に通っていました。病診連携が以前より大事になっている今の病院で、これからまた新たな気持ちで勤務したいと思っております。



荒井 崇彦 (小児科医長)



2年ほど東京の同愛記念病院でアレルギー関連疾患の勉強をさせていただいたのですが、この4月より山形に帰ってまいりました。済生館で働くのは5年ぶり、2度目になります。色々な変化を目の当たりにして戸惑うこともあります。子供たちにもご家族にも優しい医療を目指して、微力ながら学んだことを生かしていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



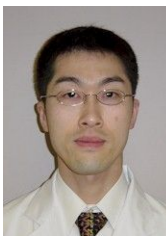
二瓶 義博 (外科医長)



4月より採用となりました外科の二瓶義博と申します。出身は宮城県で、平成7年に弘前大学を卒業。八戸市民病院で外科研修後、東北大学第二外科に入局いたしました。平成16年に東北大学大学院を卒業し、その後、大学で鏡視下手術のグループに所属しておりました。済生館でも鏡視下手術を中心に、外科の診療で地域の医療に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。



吉田 征之 (耳鼻いんこう科医長)

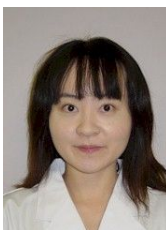


4月より済生館にお世話になることとなりました耳鼻咽喉科の吉田征之です。これまで仙台市内の3病院で研修し、県外の勤務は今回の山形が初めてとなります。山形県の地域医療に少しでも貢献できるよう、これまでの経験を生かしつつ、さらに幅広い範囲での勉強をさせていただきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

趣味はスクーバダイビング、海釣り、水泳などです。山形市は仙台と比べ、海が遠いのが少し残念ですが、かわりに懐の深い山々がとても身近であり、時間が許せばぜひ登山をしたいと考えています。



高橋 后幸 (眼科副医長)



この度、4月1日より済生館眼科に赴任することになりました。出身は仙台ですが、大学時代の6年間を山形で過ごしました。卒業後は東北大学の眼科に入局しましたが、今回再び山形に戻ってくることになりました。学生時代はおいしい物を食べたり、温泉に行ったり、山形の恵まれた環境を満喫しました。

今回は少しでも地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。



佐藤 篤 (脳神経外科医員)



4月より山形市立病院済生館の脳神経外科に赴任いたしました。頭部外傷、脳卒中を中心に診療に当たっています。特に脳卒中は近年増加の一途をたどり、急性期治療のみならず慢性期の再発予防、介護などが重要になってきております。地域の先生方と協力しながらの診療が重要な分野です。御指導、御鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

血管撮影装置(頭腹部用アンギオ)の更新について

21世紀も4年も過ぎて、医療も昔からみればとても信じられないような画期的な装置が次々とでてきますが、タイミングということと経済的な問題から、なかなか新しい機器は自分の働く病院には入ってきません。しかし今回ちょうど済生館の新病院開院以来使用していたアンギオ装置が更新されました。脳血管撮影は30年も前から行われていますが、基本的に2次元の世界の画像です。いろいろな方向からとって、あたまの中で立体構成させて、脳動脈瘤の形を想像して手術は行われていました。しかし21世紀の最大の恩恵であるコンピュータは、その脳動脈瘤の形を一瞬のうちに実際の3次元画像に作り変えます。今回導入された血管撮影装置は、撮影装置を患者様のまわりを1回転させて、コンピュータで再合成することにより、以前からは考えられない実際の脳動脈瘤の形を映し出します。

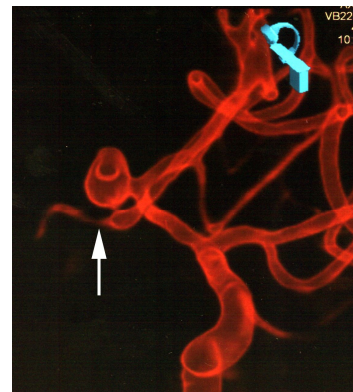


図1

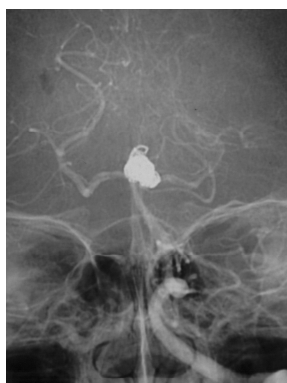


図2

これは脳動脈瘤のクリッピング手術をさらに精度の高い安全なものにします。またこの装置は近年発達した脳血管内手術にもっともよく応用されており、当院でも東北大学脳血管外科の協力により、脳底動脈瘤というもっとも脳の奥深い所にある動脈瘤の治療に応用可能となりました。図2は脳底動脈瘤の中にコイルがはいって、治癒している状態です。今後さらにこの血管撮影装置は、当院での脳外科治療に役立っていくものと思われます。

脳神経外科 天笠雅春

済生館 内科系疾患症例検討会 (第100回)

日時; 平成17年5月11日(水) 午後7時~8時30分迄

場所; 山形市立病院済生館 4階中会議室

内容; 内科系疾患患者の症例検討

その他; 日本医師会生涯教育制度指定講習会(3単位)

検討したい症例がございましたらご一報ください。

第101回は6月8日(水)、第102回は7月13日(水)の予定です。

済生館への患者様のご紹介について

時間内のご紹介について (月~金 午前8時30分~午後5時迄、地域医療連携室)

ご紹介患者様のご予約、お問い合わせは下記の専用電話にお願いいたします。

Tel 023-626-6516

ご紹介患者様に関する情報の詳細は下記のFaxへご提供お願いいたします。

Fax 023-626-6517

時間外は救急室にお願い致します(上記以外の時間、救急室)

時間外や救急などに患者様をご紹介していただくときは、下記にお願いいたします。

Tel 023-634-7119 Fax 023-634-7180